「地材地建」普及推進会議

幅広い普及に向け協議

今後の方策等について協議された会議＝鹿児島市の県庁で

地材地建の普及方法や推進施策等について協議する「地材地建」普及推進会議の初会合が26日、鹿児島市の県庁で開かれた。

同会議は、県関係部局のほか森林所有者や木材・設計・住宅関係団体、学識経験者などで構成。会長を新川博俊県林務水産部次長が務め、地材地建の幅広い普及に向けた方策を協議検討するとともに、木造住宅に係る関連産業の活性化を図る。

平成15年にスタートし、約2年が過ぎた地材地建運動。県ではこれまでに、かごしま材認証制度（認証工場19社）や同取扱店認証制度（認証実績125社）の創設、各種セミナーの開催等を通じてその取り組みを推進しているが、末端まで浸透していないのが現状となっている。

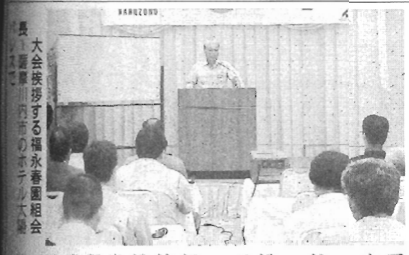
これらの課題などを踏まえ、会議では今後の地材地建推進にかかわる方策について協議した。より幅広い普及に向け、「イベント等による県民へのPR活動や関係者間の連携促進、供給体制の確立等が重要」としたほか、出席した取扱工務店代表からは「コスト高を懸念するお客さまが多いのも大きな課題」との声が挙がった。

効果的な普及活動を目指して、新川会長は「各地域のネットワークを強化し、県民へのイメージづくりに努めていきたい」と話した。

春園組安全大会

今年1年の災害撲滅を

㈱春園組安全衛生協力会（会長・長谷治春園組社長）は25日、薩摩川内市のホテル太陽パレスで17年度安全大会を開催。熊本、鹿児島、鹿屋地区から社員・会員約230人が出席、今年1年の災害撲滅を誓った。冒頭、表彰式があり、3団体7個人に協力会長代理の福永茂同社会長が賞状と記念品を伝達した。



大会挨拶する福永春園組会長＝薩摩川内市のホテル太陽パレス

福永会長は「受賞した方々は、日頃から安全施工・品質の向上に努めていただいたおかげで、お客さまに感謝され、無事1年間を乗り切ることができました。本日の大会を契機に労働災害撲滅に取り組み、今年1年も事故を起こさないことを誓いスタートを切っていただきたい」と挨拶した。

大会では、川田健二安全推進部長の安全作業報告や表彰者代表が上村明記・鉄筋工業㈱代表取締役が「予防について」の講話、川内警察署交通課による法令講習もあった。最後に会員を代表して今西将氏（㈱中西組）が大会宣言をした。

表彰者は次の通り。

【団体】㈱小原鉄筋工業　㈱斉藤工務店　㈱吉丸組

【個人】冨尾一矢（有）清川タイル　鈴木充弘（㈱小原鉄筋工業）　中瀬利光（㈱櫻木組）　永留弘幸（㈱春園組）　武本敦彦（有）町田建設）　福山トシ（㈱三垣組）　井尻博（㈱三垣組）

金峰町建築組合ボランティア

4小学校で補修実施

金峰町建築組合（会長・水落大作㈱大和建設社長）は26日、金峰町内の小学校4校の補修をボランティアで実施した。

奉仕作業は、感謝の気持ちを込めた地域への社会奉仕活動の一環として、恒例行事として7年前から実施している。今回も、田布施小学校、大田小学校、白川小学校、阿多小学校の町内4学校の天井、壁、喚起口などの補修など中心に行った。

田布施小学校の用務員室前に集合した会員らを前に木落会長が「合併を最後の奉仕作業となる。今までの奉仕活動の集大成として恩返しの気持ちを込めて精一杯頑張ってほしい」と挨拶。続いて、同校の宮里哲也校長が「皆さんの、愛郷心からなるボランティア精神にはいつもながら敬服する。古い建物での作業ですので、足元には十分注意して作業をしていただきたい」と激励した後、会員らは2班に分かれて作業に取りかかった。

作業を前に写真に納まる会員＝金峰町の田布施小学校で

その中、田布施小学校では築50年以上が経過した用務員室の天井と壁の補修を中心に行われ、およそ半日かけて行われた作業で用務員室は見違えるほどきれいになった。

参加会員は次の通り。

桜木建設㈲検校工務店㈲中辻工務店　永池工務店㈲堀ノ口工務店　久光建築㈱大和建設　川路工務店　ハウジング寺園▽協力業者＝㈱徳留

大島電気工事業協組ボランティア

小学校の電球取替え等

大島電気工事業協同組合（高田幸三理事長）は26日、電気使用安全月間の一環として名瀬市の伊津部小学校で電球取り替えや機器清掃等のボランティア作業を行い学校関係者から感謝された。

組合事務所前での出発式を終えた後、組合員らはそれぞれ現地へ向かい、今回の奉仕作業には合員を含め総勢22人（20社）が参加、電球取り替えやコンセント付け替え、漏電チェックなどの作業を行った。特に目立ったのは台風の影響で留具がはずれたり電球が切れている外灯で、中でも附属幼稚園プール側壁面の外灯は脚立では届かず、高所作業車を使っての作業となった。資材はかごしま電工㈱大島営業所と東芝電材マーケティング㈱奄美営業所が提供した。

記念写真に納まる組合員＝名瀬市内の組合事

同小学校の佐東恕教頭は「普段は職員自ら修理などをして間に合わせていたが、素人では手に負えない個所も多く大変ありがたい。子供たちも喜んでくれると思う」と話していた。

隼人町電気工事協力会・管工事組合

取替等合同ボランティア

隼人町電気工事協力会（岡元修一代表）と同町管工事組合（田崎実理事長）は26日、同町内の小学校で恒例の合同ボランティア活動を実施し、関係者に感謝された。

午前8時30分、同町教育委員会駐車場に集合した参加者を前に、古川次男教育長が「暑い中での作業は大変でしょうが、子供達も喜んでくれることと思います」と挨拶。続いて田崎理事長が「子供達がよりよい環境で学習できるよう、気持ちを込めて作業を」と励まし、作業場所や手順の説明、資材点検等の後、参加者一同のボランティア活動は

手際よく作業する参加者＝隼人町の宮内小学校で

は2班に分かれてそれぞれの担当場所へと出発した。

当日の作業場所は中福良小学校、宮内小学校など6校。このうち宮内小学校では、あらかじめ調査した作業内容指示書に従い、水栓やパッキンの取り替え、照明器具の点検修繕、コンセント取替などを行った。

手馴れた様子で作業を進める参加者に、下野修校長は「日頃から子供達には奉仕の大切さを言い聞かせており、本日のボランティア活動は供達がよりよい環境で学習できるよう、気持ちを込めて作業を」と励まし、作業場所や手順の説明、資材点検等の後、参加者一同のボランティア活動は

名瀬市水道事業協組ボランティア

奄美小で水道点検

名瀬市水道事業協同組合（永田豊人代表理事）は26日、名瀬市の奄美小学校で水道点検や簡易補修などの単独ボランティアを行い、学校側から感謝された。

作業前に永田代表理事が「現場が忙しい方も協力参加いただきありがたい。今日は給水関係の不具合を中心に補修を行うが、けがのないよう励んでほしい」と挨拶した後、参加者らは速やかに分かれ作業に入った。参加した組合員15人はそれぞれ校舎内のトイレや各教室、プール、手洗い場などで排水管詰まりの補修・蛇口交換・パッキン交換などを実施した。資材は旭有機販売西日本㈱奄美営業所が提供した。

記念写真に納まる組合員＝名

同小学校の白澤良郎教頭は「先日は組合員の方が見られ事前に故障個所を調査してくださった。専門家の方々に見てもらい大変助かる」と感謝の言葉を述べた。

組合員らは強い陽射しが照りつける中、午後遅くまで懸命に作業を続けていた。

購読料のお支払いはお手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ